

桜区の将来像の推進に係る懇話会 会議録

日時	平成 29 年 7 月 25 日（火） 10：00～11：50
場所	桜区役所 3 階第 1 会議室
参加者 ※敬称略	<p>〔委員〕 計 17 名（欠席者なし）</p> <p>茂木武久／梅澤圭司／荻原豊穰／三角福司／天野政則</p> <p>上野千江子／門脇ふじ代／山田笑美子／島崎さち子／厚川俊子</p> <p>今川夏如／小峰紀男／葩島康之／川上強／原綾</p> <p>吉田テツ子／阿部美津子</p> <p>〔事務局：さいたま市〕 計 9 名</p> <p>桜区役所：蔵方区長／野崎副区長／立石区民生活部長／今井総務課長 井手係長／山田主査</p> <p>都市経営戦略部：田中副参事／川島参与／小峰主事</p> <p>〔傍聴者〕 なし</p>
議題及び 公開又は 非公開の 別	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 出席者紹介</p> <p>4 座長の選出</p> <p>5 桜区の将来像の推進について</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">[公開]</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ 席次</li> <li>・ 桜区の将来像の推進に係る懇話会設置要綱</li> <li>・ 桜区の将来像の推進に係る懇話会傍聴要領</li> <li>・ 資料 1 桜区の将来像</li> <li>・ 資料 2 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組及び市民意見</li> </ul>
問合せ先	桜区役所区民生活部総務課 電話 048-856-6123

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部副参事より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

#### 4 座長の選出

委員の互選により、茂木委員を選出した。

#### 5 桜区の将来像の推進について

各委員より、桜区の将来像にあるまちづくりのポイントに関連した感想を述べた。

##### 【以下、感想の要約】

##### ①「自然」と「便利さ」の調和する、住みやすいまちづくり

###### □自然環境

- ・30年ぶりにサクラソウを見に行ったら、他の草に紛れてどこにあるのか良く分からない状態であった。もっと保全運動が必要だと思う。
- ・さくら草まつりにたくさんのお客が来てくれるが、サクラソウが少ない。お客の整理も大変である。
- ・桜区生まれ育ちで、サクラソウに思いがある。昔は一面のサクラソウであった。鉢植えはたくさんあるが、もう少し自然に咲いていると良い。
- ・桜草公園ができたとき、自治会で移植をした。環境的には良いところである。
- ・サクラソウが少なくなっているのは、水が足りないのではないかと埼大の人に聞いた。
- ・サクラソウは子どもの認知度が低いので何とかすべきである。
- ・サクラソウが絶滅寸前で、他の場所で育てていると聞いた。
- ・サクラソウの花壇が立派にできている。造花を作って、区役所の玄関先に飾っているので、見てほしい。
- ・昨年度まで区民会議に参加し、五関菜を初めて知った。先日はスーパーに売っていたのを見たが、もっと広めたい。
- ・地元の五関菜をもっと作れると良い。

###### □人口増加

- ・自然がいっぱいだが、人口も多くなった。市として今後どうしていくのかを知りたい。
- ・人口が多ければ良いのではなく、便利さも大切である。将来像が楽しみである。

###### □道路整備

- ・緑が多く、環境は良いが、交通の便が悪く、千貫樋水郷公園付近などで車が混む。
- ・中島3丁目付近は道場三室線が30m4車線道路へ拡幅中だが、完成が3年ごとに3回延びている。秋ヶ瀬に抜けるのが便利になるので、早い開通を望む。
- ・自宅付近の交通量が多く、道路開通による渋滞で、自宅から右折で出られなくなった。
- ・タバコの吸い殻やゴミを捨てられ迷惑している。
- ・自転車の走行帯が整備されてきているが、車の前を危険に通る過ぎるなど、マナーが悪い。
- ・車道がゾーン30で狭くなって、危険になったところがある。

- ・ 工事中の道路が完成すれば、渋滞は良くなると思う。
- ・ 工事中で生活道路が抜け道になっており、そこで自転車と接触する。
- ・ 抜け道の通行は、地元の人利用が多いのではないかと思う。
- ・ 道路照明等の設置数は評価できる。
- ・ 志木街道は昔は砂利道だったが、自然がいっぱいあり良かった。
- ・ 自転車走行空間が不足している。安全確保のためにも整備が必要である。
- ・ 生活道路が狭いのに、抜け道となっており、車のスピードも出ている。ゾーン 30 の 1 地区は少ない。
- ・ 秋ヶ瀬ハイツ前の信号がやっと設置され、高齢者がごみ出しに行けるなど、近くの人々喜んでいる。一つ一つ解決していくことが大切だと思う。

#### □ 利便性・公共交通

- ・ 西浦和駅へのアクセス利便性が悪い。交通アクセスを良くすることは、観光にもプラスになると思う。
- ・ 利便性にも地域差はある。個別の事情を考える必要がある。
- ・ 買い物の利便性も良いが、高齢者には厳しい。コミュニティバスも検討してほしい。
- ・ 桜区で唯一の駅である西浦和駅周辺の活性化が必要だと思う。

#### □ 公共施設

- ・ 環境センターのお風呂が汚くて入れないので、議員にも伝えたことがあるが、その後はどうなったのか知りたい。
- ・ 区役所の駐車場は、広くて評判が良い。

#### □ 環境・美化

- ・ ごみの減量化は各自治会の大きな課題である。集団回収をしているが、有料化も一つの方法だと思う。ごみの分別は良くなっている。
- ・ 桜環境センターは、風呂が汚かったが、最近はきれいになっているらしく、自慢できる施設である。女性会議リサイクルも頑張っている。
- ・ 自宅の付近を 3 日ごとに毎朝掃除し、生徒に声をかけている。

#### □ その他

- ・ 特に方針に誤りはないと思う。
- ・ 自然環境や生活環境、インフラも整っていて良いと感じている。
- ・ 大久保地区は、鴨川を始め、自然がいっぱいで、バスの本数も多く、住みやすい。
- ・ 「ごちそう☆桜区レストラン」の取組は素晴らしいと思う。小学校で配付されたチラシを見たが、PR 不足だと思う。

## ②子ども、高齢者、障害者にやさしく、元気に暮らせるまちづくり

### □高齢化

- ・自治会の高齢化が進み、班が減ってしまった。子どもや若い人の参加が少なく、夢のある将来像が描けない。自治会がなくなってしまうのかもと感じる。
- ・地元でも少子高齢化が進んでおり、老々介護も多い。
- ・少子高齢化は時代の流れである。
- ・インフラ整備は進んでいるが、少子高齢化に合っておらず、社会保障が遅れている。高齢者の行く場所がない。
- ・愛育会などの赤ちゃんの集まりや催しは多いが、高齢者が少ない。
- ・認知症サポーター養成に参加した。もっと住民意識を高める政策を行うべきである。学校や家庭だけでは駄目だと思う。
- ・高齢者サロンはいろいろな団体が開催しているが、高齢者は近いところにしか通えない。送迎がないと公民館には行けない。また、公民館も畳に座れない人が多いので、机テーブルを買ってもらえるようにしている。
- ・イベントの際には、高齢者を外に出させるためにも、送迎用のバスがほしい。
- ・見守り活動や高齢者サロンなど、民生委員と協力しながら進めたい。
- ・マイレージ歩数で運動をバックアップしている。
- ・高齢者は歩くことが一番で、歩数計の利用が効果的だと思う。
- ・介護ボランティア制度は登録者が増えているとのことだが、どれほど利用されているのか検証が必要だと思う。
- ・介護ボランティア制度に登録しているが、運転ができないので、運転サポートも検討してほしい。
- ・子どものレクもいろいろあるが、高齢者のものが少ない。みんなが来られる訳ではないので、出向く形も必要になる。
- ・大久保自治会では盆踊りが始まり 7 地区を回る予定だが、高齢化で、夜の移動が危なくなっている。浦和おどりへの参加は何年か前に断ったが、婦人会が参加しないと寂しいとのこと悩んでいる。

### □子育て環境

- ・川崎や世田谷に比べ、子育て環境が良く、定住につながる。
- ・子どもの貧困化と DV が増えている。
- ・自宅近くの南区側には 27 年度に保育園が 3 つできたなど、地域差がかなりある。
- ・ふれあい会食で、子どもの演技を高齢者に披露すると喜んでもらえるので、続けていきたい。
- ・保育園は増えたのは良いと感じている。
- ・浦和区にいたときは 10 か月待ったが、保育所をもっと増やし、待機児童を解消して人口増加を図ってほしい。
- ・健康寿命を延ばし、元気で暮らせるまちづくりを願う。

- ・ミニ桜区などのイベントで重複する例がある。子ども用のイベントは、いろいろ参加できるように重複しない配慮をしてほしい。
- ・イベントの際に参加児童の名前が公開されており、防犯上、少し不安であった。
- ・大久保小は学年 1 クラスしかなく、運動会など、いろいろな面で競争にならず、小学校の存続自体が危ない。子育て以前に、子どもを増やす方策が大切であると思う。子どもがいないと「三世代がつくる元気印のまち」にならない。
- ・学校の規模格差がある。
- ・遅くまで子供を預かってもらえる施設が必要である。
- ・学童保育が追い付かない状態にあり、仕事が続けられない。
- ・女性が働くチャンスが増えており、子どもを預けられる環境整備が必要であるが、学童保育がいっぱいの状況にある。

#### □その他

- ・当たり前なことだが、計画どおり進めてほしい。

### ③みんなが仲良く安全に安心して暮らせるまちづくり

#### □自治会活動など

- ・自治会の組織率が 60%程度になり、広報誌が 60%しか配られていない。残り 40%には届かないのが課題である。
- ・大雨の災害などは、身近な自治会での防災の取組が効果的だと思う。
- ・子ども会が減ってきているが、私の自治会は太鼓のおかげで増えている。ストレス解消になっているらしい。参加者は自治会に加入していることが条件だが、いろいろなイベントに出演することで子どもに張り合いが生まれている。条件の見直しが必要ではないと考える。
- ・様々な市民活動団体との横の連絡が必要だと思う。

#### □活動や事業への参加や展開

- ・公民館の事業は増えているが、赤ちゃん世代と高齢者に限定せず、世代間交流の事業を充実させた方が良くと思う。
- ・地元では新しい転入世帯が増え、平均年齢が下がってきているので、積極的にふれあいの機会を設けている。
- ・防災訓練は役員だけしか参加しない状態となっている。昼間の防災について、在宅の女性だけでどうしたら良いかを考える必要がある。
- ・年に 1 回防災訓練を行っているが、参加者が少ないので、女性や子どもを巻き込みたい。
- ・「こども食堂」について、市内では事例はあるのに、公民館で、前例がないという理由で、事業を却下され、残念であった。
- ・地元のまつりなどで、実施環境の充実が望まれる。

#### □公共施設

- ・栄和公民館が、改装でとてもきれいになった。
- ・土合公民館がきれいになり、トイレも改修された。

#### ④みんなで作るまち

##### □後継者・参加促進・しくみ

- ・若い後継者が必要なので、区民まつり関係者の中から探したい。
- ・30～40 年在住でも新参者扱いになるなど自治会の地元意識が強く、後継者ができない理由になっている。もっと高齢化したらどうするのだろうか心配である。世代間の壁を取り払う必要があると思う。
- ・地域の自治会は新しい若い参加者を褒めることでつなぎ止めている、と聞いている。
- ・自分たちが作るまちなのだとみんなが考える、主体性と意識が大切である。子どもはここがふるさとになる。意識のある世帯はあっても、余裕がなく活躍の機会がない。世代間交流を支援してほしい。
- ・交流や活動に個人情報の保護が壁になっているので、緩和も必要と思う。
- ・地域みんなが喜んで参加できるしくみとして、ふれあい会食や区民まつりが大切と思う。
- ・女性を主体とした防災訓練が必要だと思う。
- ・みんなが集まれる場所を作る必要があり、行政にも何かきっかけづくりをしてもらいたい。
- ・盆踊りのために7地区を回ったが、若い人がおらず高齢者だけなので、開催できない。

##### □その他

- ・昔からある活動をきちんと拡充していけば良い。
- ・区民会議で桜区にはこれといった特徴がないという議論になった。あれば良いというものではなく、日常の満足度が高ければ良いと思う。
- ・いろんな人がコミュニティに参加し、行政に声が届けば良い。
- ・区内唯一の駅である西浦和駅の活性化などのまちづくりが必要だと思う。
- ・昨日の市長懇談会に参加したところ、「市民幸福度ナンバーワン」「住み続けたい人 83%」とのことであった。みなさんの努力の結果だと思う。資料に示されたさまざまな数値からも、まちづくりが高いレベルにあると感じる。
- ・学校の生徒数の差は問題である。

## 6 閉会

以上